

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	運河駅自由通路管理事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課					
施 策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	鈴木 和男					

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東武野田線運河駅利用者	意図	自由通路を常時円滑かつ快適に利用できるようにする。
事業内容	・運河駅周辺整備事業に伴い、平成25年開通した東武野田線運河駅東西口のアクセス路として整備された自由通路の防犯・防火・清掃・照明施設等について、一元的かつ効率的に管理し、24時間利用可能な通路として、その安全性と快適性を適切に維持する。			
事業開始から現在までの状況変化	・運河駅東口周辺市街地整備事業に伴い運河駅周辺のまちづくりとして、駅舎の橋上化と併せた東口の開設と、駅前広場や駅前道路等の整備を一体的に実施した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		支障処理件数		7	9	件	↓↓↓
指標で表すことができない定性的な成果	・自由通路の各種昇降設備・通路・階段等を適切に維持管理することにより、東西通路利用者の快適で円滑な通行を確保し、利用者の利便性の向上が図れた。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・自由通路内の昇降機等による支障件数はあったが、事故等は発生していない。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,801,131	2,935,723			
事業費（b）（円）			1,102,431	2,244,796			
うち一般財源			1,102,431	2,244,796			
職員給与費(c)(円)			698,700	690,927			
人役・職員(人)			0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継 続 （事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・流山市役所デザインビルド型施設包括管理業務委託により緊急時の対応を迅速に行い利用者の安全を確保する。	取組みの課題	・自由通路は24時間開放していることから、安全確保に向け常時監視及び緊急時の迅速な対応が必要である。
今年度(H26)に実施した取り組み	・本年度管理の引き継ぎを行ったため、施設の不具合箇所の確認を行い、施工者に改善を指示した。	今後の改善計画	・自由通路の使用方法について基準を定める必要がある。